

地歴 問

地理歴史等

平成 30 年度 (前期日程)

注 意 事 項

- 1 「解答はじめ」というまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は1冊(本文24ページ、下書用紙2枚)で、解答用紙は1枚です。下書用紙は問題冊子の中に挟み込んであるので、引き抜いて使っても構いません。なお、問題冊子と下書用紙は持ち帰って構いません。
- 3 すべての解答用紙に受験番号を書きなさい。なお、受験番号は、次の要領で明確に記入すること。

(例) 受験番号 50001 番の場合 →

5	0	0	0	1
---	---	---	---	---

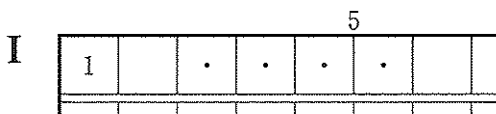
- 4 1) 世界史, 2) 日本史, 3) 地理, 4) 倫理, 政治・経済, 5) ビジネス基礎, 以上5科目のうちから1科目を選んで答えなさい。さらに選択科目の番号を受験番号の隣の欄に書きなさい。

(例) 2) 日本史を選んだ場合 →

					2
--	--	--	--	--	---

- 5 解答は、解答用紙の所定の位置に横書きで書きなさい。他のところに書いても無効になることがあります。

また、字数などの指示がある場合は、その指示に従って書きなさい。なお、字数制限がある場合、算用数字及びアルファベットに限り、1マスに2文字入れることができます。それ以外の句読点や問題番号には1マスを使用すること。ただし、例えば「問1」ならば「1」とのみ書いても構いません。



地 理

I 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

現在、世界人口の54%は都市に居住しており、今世紀中ごろまでにその割合は6割を超えると予測されている。都市人口の変化はさまざまな要因に左右される。表I-1は、世界を①アジア、②オセアニア、③アフリカ、④ヨーロッパ、⑤北アメリカ、⑥ラテンアメリカ・カリブ海地域の6地域に区分し、都市化の概況をまとめたものである。これらのなかには1950年代初頭の都市人口比率が40%程度の⁽¹⁾地域があり、そこには土地所有の著しい不平等が急速な都市化の一因となった諸国が含まれている。急速な都市化は、深刻な問題を引き起こす。発展途上国の都市では、たとえば安全な飲料水源と衛生施設の不足が健康問題を悪化させている。しかし、表I-2がナイジェリア、バングラデシュ、ペルーについて示すように、この問題の現れ方は多様である。バングラデシュの人口首位都市は改良飲料水源の大部分を深井戸に頼っているが、⁽²⁾需要増加に加えて自然の条件が安全な水の確保を難しくし、2000年代に入るとそれは産業の成長によってさらに困難となっている。他方、ペルーでも特に都市スラムでの飲料水供給は問題を抱えているが、その背景に⁽³⁾ある自然の条件は大きく異なっている。こうした問題への対処は、2015年まで取り組まれた「ミレニアム開発目標」や、それを引き継いだ「持続可能な開発目標」にも盛り込まれているが、地域の実情を考慮する必要がある。

問1 下線部(1)が最もよく当てはまるのはどの地域か。文章中の地域名に付してある番号(①から⑥まで)を一つ選んで答えなさい。つづけて、表I-1からその地域の都市化に関する数値を示している行を一つ選び、地域の欄にあるアルファベット(AからFまで)で答えなさい。つづけてその地域の人口最大国の名称を答え、1字空けて、その国について下線部(1)が述べる都市化の一因を説明しなさい。(150字以内)

問 2 表 I—2 のなかで、バングラデシュの数値を示しているのはどの行か。国の欄にあるアルファベット(a, b, c)を一つ選んで答えなさい。1 字空けて、下線部(2)にある問題が、その都市のいかなる気候・地形条件と、いかなる成長産業によって、どのように生じているのかを説明しなさい。(150 字以内)

問 3 下線部(3)について、ペルーの人口首位都市はケツペンの気候区のどれに属するかを答え、そのような気候的な特徴がそこにみられる理由を説明しなさい。また、その都市はどの地域を主な水源とするか答えなさい。(100 字以内)

表 I—1 世界の諸地域における都市化の概況

地域	都市人口 (千人, 2015)	都市人口比率 (%, 2015)	都市人口増加率 (年平均%, 2005~2015)
A	294,834	81.6	1.09
B	502,793	79.8	1.50
C	547,066	73.6	0.40
D	27,853	70.8	1.61
E	2,113,137	48.2	2.65
F	471,602	40.4	3.55

注：()内の数値はデータの年次を示す。都市人口比率とは、一国の総人口に占める都市人口の割合である。この表は、その値の大きい順に6つの地域を並べたものである。
出所：国連ハビタット World Cities Report 2016

表 I—2 ナイジェリア、バングラデシュ、ペルーにおける都市居住・健康衛生状況

国	都市スラム人口(2014)		都市部における5歳未満児死亡数 1000人当たり	人口首位都市における	
	千人	比率%		改良飲料水源普及率%	改良衛生施設普及率%
a	29,273	55.1	50(2011)	100.0(2007)	55.1(2007)
b	42,067	50.2	89(2013)	57.2(2013)	85.6(2013)
c	8,238	34.2	19(2012)	94.0(2012)	94.6(2012)

注：()内の数値はデータの年次を示す。都市スラム人口の比率とは、一国の都市人口に占めるスラム人口の割合である。この表は、その値の大きい順に3か国を並べたものである。改良飲料水源とは、上水道や掘削井戸などをさす。また、改良衛生施設とは、下水処理施設や浄化槽等に接続されたトイレをさし、未接続トイレ、共同トイレ、屋外排泄などを除く。

出所：国連ハビタット World Cities Report 2016, 世界保健機構オンラインデータベース

Ⅱ アメリカ合衆国(米国)において、五大湖周辺地方などは「ラスト・ベルト」(鉄さび地帯)とも呼ばれ、衰退産業の問題が深刻とされる。他方で、同じ米国の中でも雇用が拡大している産業があり、産業構造の転換が進行していると言える。これらに関して、以下の問に答えなさい。

問 1 ミシガン州で五大湖に挟まれた位置に自動車産業が集積した X, ペンシルヴェニア州西部に位置し鉄鋼業で発展した Y は、ラスト・ベルトの主な都市である。X 及び Y の都市名を答えなさい。なお、解答は、解答用紙の 1 行目に、X = 都市名, Y = 都市名のように記入しなさい。

問 2 米国における工業の雇用を整理した表Ⅱ-1に見られるようなテキサス州やノース・ダコタ州での変化には、表Ⅱ-2のどの産業、特に何の産出が増加したことが関連すると考えられるか解答用紙の 2 行目に答えなさい。

問 3 表Ⅱ-1に示したワシントン州については、どの産業が主に影響しているか、産業名を表Ⅱ-2の番号で解答用紙の 3 行目に答えなさい。また、産業名の番号の後に 1 字空けてから、この産業で生産される製品の中で特にワシントン州を特徴づける製品に関する日本と米国の間の貿易パターンについて説明しなさい。(100 字以内)

問 4 経済や人口の規模において米国の中で大きな割合を占めるカリフォルニア州やニューヨーク州は、ラスト・ベルトには属さないが、表Ⅱ-1に示したように、工業の雇用減少率は米国全体平均よりも高い。この背景として、どのような変化が生じていると考えられるか説明しなさい。(250 字以内)

表Ⅱ-1 米国の主な州における工業の雇用

州名	2005～2015年の 従業者数の増減(人)	2005～2015年の 変化率(%)
サウス・ダコタ	+ 6,817	+ 18.40
ノース・ダコタ	+ 2,016	+ 9.01
ワシントン	+ 1,313	+ 0.53
テキサス	- 34,636	- 4.44
ウイスコンシン	- 36,316	- 7.68
インディアナ	- 61,246	- 11.46
ミシガン	- 66,746	- 10.91
マサチューセッツ	- 68,737	- 23.30
イリノイ	- 113,271	- 17.29
オハイオ	- 118,857	- 15.47
ペンシルヴェニア	- 121,574	- 18.63
ノース・カロライナ	- 131,900	- 24.44
ニューヨーク	- 148,734	- 27.18
カリフォルニア	- 273,994	- 19.60
(参考) 他州を含む米国全体	- 2,001,869	- 15.20

表Ⅱ-2 米国の工業における各産業の雇用

産業名	2015年の 従業者数(人)	2005～2015年の 変化率(%)
①食品, 飲料・タバコ製品	1,545,461	- 2.40
②繊維, 衣服, 皮革製品	323,104	- 47.27
③木材加工品, 製紙・印刷, 家具	1,464,485	- 31.78
④石油・石炭製品	102,923	+ 0.01
⑤化学, プラスチック・ゴム製品	1,475,008	- 10.42
⑥金属, 金属製品	1,749,969	- 7.32
⑦電子・電気機械, コンピュータ	1,112,438	- 21.90
⑧輸送用機械	1,465,471	- 5.74
⑨その他機械	1,041,184	- 2.03
⑩その他	886,910	- 22.62

(出所) 表Ⅱ-1・2とも米国商務省 Annual Survey of Manufacturers

Ⅲ サハラ以南アフリカ諸国の経済を特徴づけるのは、輸出品が少数の一次産品に特化した「モノカルチャー」的構造だと言われる。表Ⅲ－１～Ⅲ－６は東南部アフリカのエチオピア、タンザニア、ザンビアの輸出額の推移を品目別と相手国別に示したものである。これらの表を参照しながら、以下の問に答えなさい。

問 1 表Ⅲ－１，Ⅲ－２，Ⅲ－３のアの品目は、20世紀から多くの東アフリカ諸国が主要な輸出品として生産してきた農産物である。この農産物の名称を解答用紙の1行目に答えなさい。またこの農産物の世界市場をめぐって、どのような変化や取組があったのか、次の三つの言葉を使って説明しなさい。

(品目の名称とあわせて100字以内)

国際協定 フェアトレード 先物市場

問 2 表Ⅲ－１，Ⅲ－２のイの品目は鉱産物で、タンザニアや西アフリカのガーナで1990年代以降輸出額が増加している。この鉱産物の名称を解答用紙に答えなさい。この品目やザンビアの主要輸出品である銅のように、鉱産物のモノカルチャーの場合は、農産物のモノカルチャーとは異なる政治的、社会経済的、環境的な悪影響や問題が生じるおそれがある。どのようなことか説明しなさい。

(品目の名称とあわせて125字以内)

問 3 表Ⅲ－１，Ⅲ－２，Ⅲ－３に示したエチオピア、タンザニア、ザンビアの輸出品と輸出額はどのような点で変化しており、どのような点で変化していないか、モノカルチャーと関連づけて説明しなさい。(75字以内)

問 4 アフリカ諸国は、モノカルチャー的経済構造のもとで一次産品を先進国に輸出し、先進国から工業製品を輸入するという、垂直的貿易をもっぱら行ってきた。しかしこのような関係には近年変化が見られる。表Ⅲ－４，Ⅲ－５，Ⅲ－６から、2000年以降輸出相手国に関連して、どのような変化が共通して見られるか説明しなさい。(100字以内)

表Ⅲ－１ エチオピアの主要品目輸出額

単位：100万ドル

品目/年	2000	2005	2010	2015
ア	255.4	335.4	699.1	1018.6
油糧種子, 油性果実	29.2	198.2	345.4	531.4
野菜(生鮮, 乾燥, 冷凍)	10.6	38.0	388.3	814.5
切り花	0.4	12.1	143.8	662.4
イ	27.7	44.4	182.3	158.0
総輸出額	482.0	926.2	2329.8	5027.5

出所：国連商品貿易統計データベース (UN Comtrade) のデータにより作成。
以下の表も全て同様。

表Ⅲ－２ タンザニアの主要品目輸出額

単位：100万ドル

品目/年	2000	2005	2010	2015
ア	83.0	79.6	117.3	158.2
イ	113.6	551.3	966.1	1430.9
魚切り身, 魚肉(冷蔵, 冷凍)	65.7	129.3	115.6	145.3
野菜(生鮮, 乾燥, 冷凍)	4.5	37.4	98.5	304.1
ナッツ類	84.0	46.2	126.3	251.5
総輸出額	655.8	1671.8	4050.5	5854.2

表Ⅲ－３ ザンビアの主要品目輸出額

単位：100万ドル

品目/年	2000	2005	2010	2015
精錬銅，銅鉱石，銅合金	483.3	1083.2	5656.1	5179.8
タバコ	10.7	64.8	117.8	106.5
切り花	3.1	11.4	0.3	12.3
野菜(生鮮，乾燥，冷凍)	8.9	23.6	10.9	11.1
ア	7.5	13.0	3.4	0.5
トウモロコシ	4.1	16.2	35.2	201.1
総輸出額	892.3	1809.8	7200.3	6983.2

表Ⅲ－４ エチオピアの国別輸出額

単位：100万ドル

国/年	2000	2005	2010	2015
イギリス	10.4	25.1	57.8	65.5
ドイツ	94.3	121.5	265.3	321.9
オランダ	10.0	33.2	173.4	535.0
アラブ首長国連邦	2.8	33.8	111.3	124.5
サウジアラビア	38.9	57.9	146.5	357.1
中国①	1.5	93.3	248.4	406.6
ジブチ	51.4	53.5	67.1	213.3
ソマリア	29.3	58.8	224.1	671.7
米国	17.6	43.6	102.3	277.8

① 中国には香港を含む。以下の表でも同様。

表Ⅲ—5 タンザニアの国別輸出額

単位：100万ドル

国/年	2000	2005	2010	2015
イギリス	145.9	132.1	34.3	23.0
ドイツ	60.1	77.9	139.3	225.7
スイス	3.0	145.9	710.4	153.9
アラブ首長国連邦	6.2	35.5	58.8	157.6
インド	98.4	78.1	226.5	1149.4
中国①	9.4	108.9	669.9	596.3
日本	34.0	72.3	217.5	230.4
ケニア	31.6	93.5	324.9	793.9
南アフリカ共和国	11.6	294.8	433.7	675.4
コンゴ民主共和国	3.2	62.3	156.1	198.3

表Ⅲ—6 ザンビアの国別輸出額

単位：100万ドル

国/年	2000	2005	2010	2015
イギリス	405.8	261.3	134.8	65.8
スイス	103.7	519.4	3673.5	3091.1
アラブ首長国連邦	0.1	0.3	176.2	69.9
インド	8.8	25.4	19.0	22.4
中国①	3.0	40.6	1457.5	1111.9
南アフリカ共和国	174.6	336.9	657.8	534.3
コンゴ民主共和国	38.9	97.4	333.5	522.6
ジンバブエ	17.9	74.9	120.6	266.8
マラウイ	16.4	62.3	102.7	107.3

〔下書用紙〕

10

20

25

10

20

